



今回掲載した平成30年度串間市施政方針は抜粋です。  
全文は市の公式サイトでご覧になれます。



小水力発電施設



※写真はイメージです

＊  
元気な  
串間創生を  
目指して

# 平成30年度 施政方針 (抜粋)

1年間の主要な事業や予算についての  
方向性を示す施政方針。  
今年度の串間市施政方針をお知らせします。

## 市政運営の 基本的な考え方

昨年10月、市民の皆様への負託を受け市長に就任し、初めての予算編成となりました。この間、市民の皆さんとの対話を重視しながら市政運営に取り組みまいりましたが、その中でも私が公約で訴えてきました、「串間の元気総力戦」による「元気な串間創生」が市政推進に今求められているとあらためて実感いたしております。

この公約実現への第一歩であり、まず「平成30年度予算」は、まずは、働く場を創出し、雇用の安定を目指すことにより、若者定住と子育てしやすい環境を図る「真の地方創生」に、子供から高齢者まで、すべての市民が安心、そして健康で豊かな人生を送れるための「暮らしと心の豊かさ」。さらには、本市の将来を担う若者を育成・確保する「串間の人財育成」を柱に据え編成したものであります。

また、この一年は、「団結」「継続」

「変革」の信念のもと、市民と行政が一緒にこれまでの山積する課題に道筋をつけ、人口減少の克服と地域活性化に向けた新たな一歩を踏み出してまいります。

## 市民と団結した行政推進

そのため、新たな取り組みといたしまして、人口減少および地域経済縮小を克服するため、「くしま創生会議」を設置いたしました。今後この会議において、市民の皆さんの多くのご意見を取り入れながら、市民と行政が団結した市政の推進に努めてまいります。

## 計画の継続性

東九州自動車道「日南～串間～志布志間」は、「日南～油津間」「夏井～志布志間」が事業化されたことから、大きく前進しているものと感じているところでありますが、「油津～串間～夏井間」については、未だ事業化の決定がされていないところ

であります。そのため、今後も官民が一体となった要望活動を積極的に進め、一日でも早く事業化されるよう継続して取り組んでまいります。

また、東九州自動車道の開通を見据えた中心市街地活性化策として事業を進めております「まちなかの道の駅」についても、引き続き、国と連携を図りながら早期整備に向け取り組んでまいります。

## 新たなチャレンジ

九州最大規模の風力発電施設、農業用水を活用した小水力発電施設、木質バイオマス発電施設の計画が発電開始に向け順調に進んでおり、本市の地域振興に大きく寄与するものと期待しているところであります。

今後、本市が有する再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限に活用し、地域に恩恵を十分に還元させる仕組みづくりやエコツーリズム・教育・観光といった様々な分野と融合させ、国内屈指の「再生可能エネルギーを活かした観光都市」を目指してまいります。

また、市が地方創生の柱として取り組みを続けております、都井岬観光の再興については、トイレや休憩施設等を整備するための調査設計に着手いたします。また、高松漁村広場をアウトドアニースに対応する新たな観光スポットとして整備するた

めの調査設計に着手します。既存の取り組みに加え、これら新たな取り組みを着実に進めながら交流人口の増加を図ってまいります。

これらの施策の推進にあたっては、人材の育成が必要でありますことから、年齢や性別にこだわらず誰もが活躍できる環境の整備に取り組むとともに、社会環境の変化に対応できる人材の育成に努めてまいります。

## 平成30年度予算の概要

平成30年度の一一般会計予算案は、予算総額が126億円となっており、前年度当初予算と比較して、1億8千万円の増加となっております。

この主な要因は、避難施設整備事業、串間エコグリーンセンター基幹的設備改良事業、また、新たに高松キャンプ公園整備事業の取り組みなどにより増加したものであります。

## おわりに

以上、平成30年度の市政運営の基本的な考え方について申し上げます。今後、私が掲げた3つの柱であります「真の地方創生」「暮らしと心の豊かさ」「くしまの人財育成」を実現させるため、先頭に立って取り組んでまいりますので、市議会および市民の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。